

評価表のまとめと改善目標

1. 工夫している点

今年度は、コロナ渦での施設開所となったため、今まで以上に清掃・消毒を徹底した。施設内に加え、送迎車両内に空気清浄機を設置するなど、感染を防止するための環境整備や対応を行った。また、感染しない・させないを子どもに合った形で実践した。登所を自粛をされているお宅には、電話でのアドバイスをすることで、支援が途切れないよう心掛けた。

行事等での取り組みでは、親子通園や行事の実施が少なかったため、活動の様子を写真や動画で撮り、面談時に見て頂いた。行事の開催方法や保護者の参加の仕方を考える良い機会となった。

2. 改善目標

アンケートから、保護者は日々の様子や支援方法などの情報を、より詳しく知りたいと思っていることが分かった。月1回程度行っている面談に加え、電話や連絡メモなども活用し、情報交換を行うことで日々の支援を理解していただき、保護者との信頼関係を深めていきたい。

新型コロナウイルス感染拡大により、環境の変化に対応することに不安や悩みを持ちやすい利用児とその家族に寄り添い、支援をし続けていくことが必要。更に、具体的な声かけや対応について、助言ができる環境整備も必要であると考え、様々な状況の中でもつながる支援を目指していきたい。また、職員一人ひとりが正しい知識と支援技術を深め、研鑽を積んでいきたい。

以上のことから次の項目を改善目標とする。

**《従来からの療育に加え、様々な環境の変化に対応した
保護者(利用者)と“つながる支援”
を目指していく》**